



土砂災害

近年では、異常ともいえる、1時間に50ミを越えるような局地的な大雨が増加の傾向にあります。それに伴い、全国各地で土砂災害による被害が多発しており、その数は毎年平均で1,000件を超えています。

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には、「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

土砂災害警戒情報は、テレビ、ラジオ、インターネットの報道や気象庁、国土交通省砂防部、県砂防課などのウェブサイトで確認できます。

土砂災害警戒区域や危険個所付近などに住んでいる人は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された時には、早めに町の指定避難所に避難しましょう。

自分の身は自分で守ることが基本です。熊本地震の影響も踏まえ、普段から地域の現状を確認しておき、雨の状況などを見て危険と感じたら早めに自主避難し、身の安全を確保しましょう。

土砂災害の多くは、木造一階で被災されていると言われています。豪雨などでどうしても避難所への避難が困難な場合は、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい時は家の中でより安全な場所に避難しましょう。

危険信号を見逃すな！ ～次に揚げる現象は土砂災害の前兆です～

こんな現象を見たら…、聞いたら…、早めに避難しましょう。危険な場所には、近づかないようにしましょう。



地すべり

- 湧水量の増加
- 湧水の枯渇
- 池や沼の水位の急変
- 井戸水の濁り
- 落石・小崩落
- 斜面のふくらみ
- 地鳴り・山鳴り
- 樹木の傾き
- 亀裂または段差の発生、拡大
- 地面の振動



土石流

- 渓流水位の激減
- 土臭いにおい
- 渓流内の転石の音
- 地鳴り
- 流木発生
- 流水の急激な濁り
- 流水の異常な濁り



がけ崩れ

- 表面に流水が発生
- 井戸水の濁り
- 湧水の発生・停止・噴き出し
- 湧水量の増加
- 湧水や川の濁り
- 川の水位低下
- 地鳴り
- 斜面のふくらみ
- 小石の頻繁な落下
- 亀裂の発生

国土交通省と県では、6月を「土砂災害防止月間」に、また、6月1日～7日を「がけ崩れ防災週間」とし、啓発を行っています。また、県央広域本部上益城地域振興局では、近年、山地の崩壊、土石流、地すべりなどの山地被害が多発し、人命・財産に甚大な被害をもたらしていることから、6月30日まで「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

山の斜面や川の流れをよく観察してみると、事

前に上記のような危険信号と思われる変化がキャッチできる場合が多くあります。

危険信号を感じたら下記まで連絡してください。

- 危機管理課危機管理係 ☎ 286 - 3210
- 都市建設課工務係 ☎ 286 - 3340
- 産業振興課農林振興係 ☎ 286 - 3277
- 県央広域本部上益城地域振興局林務課 ☎ 282 - 0142